

令和元年度老人保健健康増進等事業

介護サービスの質の評価指標の開発に関する調査研究事業

株式会社 三菱総合研究所

1. 事業目的

本事業では、過年度事業の成果も踏まえ、介護サービスの質の評価について体系的な整理を行うとともに、評価指標の開発を行うことを目的として実施した。

具体的には、①諸外国で使用されているQI指標を参考に、QI指標を構成するアセスメント項目の確認と科学的裏付けに基づく介護に係る検討会で議論されているアセスメント項目（過年度事業で開発したデータ項目ver2.1を含む）の関係性の整理を行った上で、評価指標に活用できる項目の洗い出し等やそれらの項目の収集可能性の検証を行い、評価指標案を作成した。

また、適切なデータ収集の環境整備の観点から、②介護保険施設におけるマネジメントシステムの試行導入の検討（特に評価期の検討）も合わせて実施した。

2. 事業概要

1) ワーキングの開催

有識者から構成するワーキンググループを設置し、介護保険施設におけるマネジメントシステムの試行的な導入方法や導入時の課題の整理等を行った。

2) マネジメントシステムの試行導入支援

介護保険施設を対象に、マネジメントシステム（実行期・評価期）の試行導入支援を実施し、各施設がマネジメントシステム導入の「実行期」「評価期」に直面する課題と対応策等を明らかにした。

その上で収集した情報を基に、平成30年度事業の手引きの付属資料を作成した。

3) データ項目の収集可能性の検証

介護サービスの質の評価指標の開発を行うことを目的として、米国で使用されているQI指標を参考に、QI指標を構成するアセスメント項目の確認と科学的裏付けに基づく介護に係る検討会で議論されているアセスメント項目（過年度事業で開発したデータ項目 ver2.1を含む）の関係性の整理を行った。

4) 評価指標案の作成

CHASE項目の活用を前提とした評価指標案を検討・作成し、指標作成上の課題を整理した。

5) 報告書作成

本事業の内容についての報告書を作成した。

3. 事業結果

本事業を通じ、介護サービスの質を評価する上で必要なストラクチャー、プロセス、アウトカムの3つの視点のうち、プロセス、アウトカム評価に対する対応の具体化につながる整理（評価指標案の及び「介護保険施設における内部監査（点検会議）の実施マニュアル」の作成）が実施できた。